ムーンライト＆ヴァレンチノ（1995）

MOONLIGHT AND VALENTINO

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 104分
初公開日 1996/10/05
公開情報 日本ビクター

【解説】

大学で現代詩の講座をもつレベッカ（パーキンス）は、突然の交通事故で最愛の夫を失う。呆然自失の彼女はしばらく何も手につかず、親友のシルヴィ（ウーピー）、彼女の務める大学で学ぶ妹ルーシー（パルトロー）に慰められる。継母アルバータ（ターナー）も現れるが、すべてにおいて仕切ろうとする彼女と姉妹とはしっくりいっておらず、なにかと緊張が絶えない。継母が姉妹の家庭に入る直前、実母がガン死するという悲劇があったのだ。ルーシーはそれゆえ一向に母に心を開こうとせず、神経症のきらいもあった。シルヴィも夫との間に倦怠を抱えており、いわば、彼女たち全員に微妙な軋みがあるのだが、お互いが補い合うべき関係だと、やがては気づいていく……。

原作戯曲と脚色を、ブロードウエイを代表する劇作家Ｎ・サイモンの愛娘エレンが手掛けたことで話題になった作品だが、父譲りの軽妙洒脱さより自伝的な深刻さ（つまり、アルバータのモデルは何を隠そう、エレン自身の継母マーシャ・メイソンである）が鼻について、佳作「ルディ／涙のウイニング・ラン」のリアリズムの俊英アンスポーがメガホンを取り、魅力的な役者を配してはいても、ついぞ語りにのめり込めずじまいの作品だった。収穫は籠もりがちのレベッカを再び現実に引き戻す、ミステリアスな塗装屋に扮した映画初出演のＪ・ボン・ジョヴィで、自然体の演技に大変好感が持てる。

【クレジット】

監督	デヴィッド・アンスポー	David Anspaugh
製作	アリソン・オーウェン	Alison Owen
	エリック・フェルナー	Eric Fellner
	ティム・ビーヴァン	Tim Bevan
原作戯曲	エレン・サイモン	Ellen Simon
脚本	エレン・サイモン	Ellen Simon
撮影	ジュリオ・マカット	Julio Macat
音楽	ハワード・ショア	Howard Shore
出演	エリザベス・パーキンス	Elizabeth Perkins
	ウーピー・ゴールドバーグ	Whoopi Goldberg
	グウィネス・パルトロー	Gwyneth Paltrow
	キャスリーン・ターナー	Kathleen Turner
	ジョン・ボン・ジョヴィ	Jon Bon Jovi
	ジェレミー・シスト	Jeremy Sisto
	ジョセフ・ソマー	Josef Sommer
	ピーター・コヨーテ	Peter Coyote

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.